

大阪支部便り

綾戸智恵ライブ顛末記

弁護士 飯島 奈絵



2009年夏に大阪支部役員になった際、前年度役員から、

- ・支部の課題は、新規会員の掘り起こし
- ・女性法律家協会設立60周年・大阪支部設立50周年の年にあたる、記念行事開催

との引継ぎを受けました。

「60周年記念に、皆が元気になれる素敵な企画をして、女性法律家協会の存在を強く意識してもらい、新規会員の掘り起こしをしよう。」

このコンセプトのもと、ランチをつつきながら、「野田聖子議員に講演は依頼できないかな。」「東京のどこかの大学にヒラリー・クリントンが来て大学生と討論しているのをテレビで見たことがある。オバマ夫人も女性法律家だし、来てくれないかな。大阪弁護士会館の屋上へリポートに颯爽と降りるオバマ夫人ってどう？」等と楽しくブレーストーミング(=妄想)をするうちに、「大阪弁護士会館2階ホールで綾戸智恵さんのライブは？」という話になりました。

綾戸さんは『最もチケットのおさえにくいアーティスト』と言われ、そのチケットはスーパープレミアムチケットとのこと。大阪出身でトークも絶妙と聞きます。来てもらえたら嬉しいけれど、何の伝手も無い。ランチの席から、ネット検索し

て見つけた綾戸さん所属事務所へ携帯で電話を入れてみたら・・・事務所の社長さんが電話に出られ、趣旨をお話したところ、その場でご快諾いただきました！綾戸さんはお母様の介護もあり、1年2ヶ月間、音楽活動を休業していたものの、翌月より半年間の予定で活動再開とのこと。関西にツアーに出る際に日程を調整し、大阪弁護士会館でもライブをしてくださることになりました！

舞台は綾戸さん1人でもライブをするとすると10トントラックに器材を積んで運びます。大阪弁護士会館のためだけに来ていただくことはできません。何としても、関西ツアーの日程と合わせなければなりません。しかも、仕込みを考えると会場を丸一日おさえる必要があります。ところが大阪弁護士会2階ホールも先約が多く、なかなかスケジュールがあいませぬ。交渉は、大阪弁護士会の関係職員さんに綾戸CDを渡して聴いてもらい、「何とか、この人のライブを弁護士会でしたいのでご協力ください。」とお願いするところから始まりました。「綾戸さんに来てもらえるんなら、私にできることは何でもします！」と行ってくださった女性職員さんもいました。大弁の関係委員会の委員長に協力依頼にあがったら、綾戸さんのプロフィール見て、「あれ～～、綾戸さん、僕の小学校と中学校の2学年先輩だ～～。」と声をあげられ、全面協力いただいたこともありました。大弁副会長川崎裕子先生にも強力なご支援をいただき、何とか大阪弁護士会館2階を押さえることが出来ました。

次は500枚強のチケットをどうやって販売するか。チケットを郵送するとなると、チケットの印刷代・郵送料・郵送手配事務の費用・手間がとても大変なので、申込・入金確認・チケット発行とも、すべて電子メールで行なうEチケット方式としました。チケットの段取りが決まれば、その次はチラシの作成です。今年の役員の子で学生時代、バンドのチラシのデザインをしていた者がおり、綾戸事務所から送ってもらった綾戸さんの写真を利用して、チラシのデザインをしてもらいました。チラシの印刷手配・チケット受付申込等、

複数の法律事務所の事務局さん達に多大のご協力をいただきました。お礼はすべて綾戸チケットとさせてもらいました。

チラシ配布も完了し、いよいよ申込受付開始です。女性法律家会員 3,000 円/枚、非会員 7,000 円/枚、女性法律家協会会員先行販売後、一般販売開始としました。メール申込開始時刻 10 月 16 日深夜 0 時、先着順、売り切れ御免とアナウンスしたところ、16 日 0 時 00 分からどんどんメールが入ります。申し込んでくださったのは、女性法律家、男性法律家、事務局、ご家族・ご親戚等。チケットはほどなく売り切れ、満員御礼となりました。「母が大ファンなので。」とお母さんといらしてくださった若い方、「自分達夫婦が大好きな綾戸さんライブを子供に見せたい。親にも見せたい。」と 3 世帯 6 人分を購入くださった方もいらっしゃいました。日ごろの感謝を込めて事務局さんに贈った弁護士は多数いました。

大阪弁護士会 2 階ホールは 600 人収容の大きな会議室です。パーティーで 4 つに区切り、別々に使用することも可能なら、大部屋にして使用することもでき、大部屋で使用するには、可動式の階段式客席をせり出せるという会場です(いわば、とても大きな結婚式場に可動式の階段式客席がついたイメージ)。あくまで会議室なので、出入りが狭く、通常のライブ用の音響器材が出入り口を通りません。コンサートホールやライブハウスのように音響も意識していないので、その調整も大変です。舞台も可動式の台を並べて置く方式です。客席の一番後ろからでも、小柄な綾戸さんの姿を見せたいので、舞台を高く組みたい、と同時にピアノを乗せるので強度も必要です。通常のコンサートホールやライブハウスでないが故に、綾戸事務所のスタッフの方は何度も下見に来られ、器材の種類やセッティングの工夫を考えてくれました。大阪弁護士会館の管理業者さんとの打ち合わせもしてもらいました。弁護士会館の奥にある業務用のエレベーターも、エレベーターホールの出口が狭く、器材を通りません。極力、他に迷惑を掛けないように、一般用エレベーターを、どのタ

イミングで養生し、器材を一気に搬入してしまうか等、細かく詰めました。

当日は、打ち合わせ通り、朝から器材を搬入し、プロが舞台を組んでいきます。お昼には舞台に赤茶色の木目のスタインウェイのピアノが乗りました。音響・照明のセッティングも行い、リハーサル開始です。曲ごとに変わる照明のマジックで息を呑むように素敵な舞台となりました。

自由席としたので、良い席を求めて、開場数時間前に多数に並ばれることを想定し、整理券を準備しました。入り口には女性法律家協会本部からいただきました大きな立派なお花を飾りました。予想通り、早めに来られた方に整理券を配布し、時間通りに開場。東京からいらしていただいた曾田多賀女性法律家協会会長からご挨拶をいただき、ライブが始まりました。

素晴らしい歌とピアノと絶妙の大阪弁トーク。関西人ばかりの会場もとてもノリがよく、文字通り、夢のような時間でした(綾戸ライブの素晴らしさは、言葉では説明しきれないので、是非、綾戸さんの CD/DVD/ライブをご購入ください)。綾戸さんのお母様も東京から同行され、車椅子で会場に入られました。ライブの前後にお母様の介護をされる綾戸さんの姿に、仕事と家事・育児・介護を両立させる『働く女性仲間』の奮闘を見ました。

ライブが終了し、スタッフの方々が手際よく器材を撤収し、いつもの見慣れた大阪弁護士会館 2 階ホールに戻り、夢は終わりました。

終了後、暫く、あちこちから、とても良い企画だったとお褒めいただきました。目論見通り、女性法律家協会大阪支部会員増も図れました。このような企画をさせていただいたことを心より感謝します。

